四月十四日夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料 五號十二詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社
電話六二〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

讀經の功德考

眞織雲山

佛前の讀經には大體二つの意味がある、その第一は梵語の漢譯されたものを更に和譯し意譯して經中に述べられた意味を釋尊の敎へとして受け取ることであつてこれは智であり學問である。

その第二は梵語または漢譯を棒讀みにして聲を張り上げ佛前に誦することであつて漢文の棒讀みならば漢字の素養さへあれば大作の意味は分るが梵語の丸出しになると梵語學に精通してゐない限り珍紛漢紛譯が分らぬ、而かも梵語學者は今の日本にはさう〳〵澤山はゐないから梵語の棒讀みは普通人に意味不明であり譯の分らぬものを讀むとも無意義でないかと說もあり得る。しかし木魚にも鉦にも文字としての意味はなきもそこに宗敎としての無限の意味がある、況んや木魚以上に複雜な陀羅尼の讀誦をやでこの方は學問ではなく行であり體驗である。斯くて經典の讀誦は智と行との一石二鳥を行つてゐるのである。

同じお經でも觀音經には觀音經としての風趣がある それによつて觀世音の慈悲を體驗することが出來る、壽量品には壽量品獨自の意味がある、それによつて悉皆成佛の道が開かれるのである。

譯の分らぬ筈の同じ陀羅尼にしても首楞嚴經と大悲心と佛尊勝とでは同じ眞言禪家の朝夕讀誦用であつてもその境地は各々に一變する況んや法華經廿六のマン〳〵マネ〳〵に於てをや浮士宗根本陀羅尼のサンソベアミソト、ンツティアミリトに於てをやです〳〵氣分は變つて來る。尤もこれは大なり小なり佛教に理解あるものにおいて初めて各々の對境を味讀し得ることであつて犬や猫にお經の氣分はわからず門外無信の徒には蛙語蟬聲と多く異るところはあるまい知が伴はねば行は起らず智行相應あるところにのみ宗敎は生れる。

佛樣でない私が佛前の讀經に何程の功德ありやを知らう筈はないが人間的に考へて以上の二樣の意義あり從つて智者は智者として又一文不知は不知のまゝそれ〳〵の功德があること分明なりと思はる。若し夫れ稱へ〳〵て心源に徹する時んば必定して絕對不二凡聖一如の本堂に到り得ると思ふそこには智者も愚者もある筈はない、その本堂とは佛の境界である宗敎とは命終してイヤ〳〵その本殿に到るかそれとも歡喜踊躍して現身即時にその本殿に到り樓むかの別だけである。

ノート

喫煙の最初は好奇心や人眞似が動機となるものが多い初めから手にせねば一生喫はずとも苦痛でない

＝明日の献立＝

【朝】すまし汁…三つ葉
玉子とじ

【晝】かき揚げ…ひらめ
いか　三つ葉

【晩】木の芽あへ―うど

常磐文藝

しば笛吹いて

飯村閑舟

しば笛吹いて
君を待ちます
つれない心
星はまだ出ぬ
夕暮れ待つま。
とろり遠火が
目にうつる

しば笛吹いて
木によりそへば
のぼるひよどり
空高らかに
ないてとぼ〳〵
かすめる姿
いとほしや

MSカメラ景品附大特賣

花の春!!!
カメラのシージン!!!
散步に御旅行に
春の行樂にはぜひMSカメラを

MSカメラ第一回懸賞寫眞募集

應募規定
一、資格弊店より御買上のカメラで撮つた寫眞に限る事
二、寫眞…櫻を背景とした人物及風景に限る
三、大きさ…小型ベスト名刺版にて何枚出すも可　但し一人一賞の事

賞品　一等銀カップ以下十等迄
〆切　四月三十日　發表　五月五日
其他詳細は當店へ御問合せ願ます

カメラ特約店
主催　平驛前　いづみやカメラ部

妊娠を望む方は使用すべからず

男女安全豫防藥
新發賣　志のぶ錠

しのぶ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇〇の外コシケ、子宮、內膜炎、膣加答兒並に婦人〇部の瘙痒等の治療の目的に用ひられる事で即ち〇〇の豫防と治療の二重奏をなします

專賣所　阿康藥舖
平古鍛冶町(電話四四番)

新形提灯賣出し

櫻の節も愈々近づきました
店頭……店內……の裝飾に
最新形の提灯を御利用下さい

電燈笠用櫻花コード付　提灯　一ケ　三十五錢
櫻　模　樣　付　角　形　提灯　〃　三十八錢
櫻模樣ハード形　提灯　〃　三十錢
櫻　模　樣　中　柳　提灯　〃　二十五錢

スガノヤ提灯店
電話九五番

銘酒長生

今般三丁目通り
芹澤タクシーの隣へ
移轉致しました何卒宜しく
お願ひ致します

電話六六三番
磐崎屋支店
小野信一郎

御入學、御進級、御卒業ノ
プレゼントニハ是非御時計ヲ
御用命ハ……驛前通リノ
星野時計店へ願マス

記念トシテ來ル廿六日迄粗景品付
正札ノ一割引特賣御修繕ハ大勉强
致シマス

お花見辨當

御重入辨當

平館
入場券
割引販賣
一名ニ付　五錢安

平町土橋　マルマン商店
電話四八九番

救れた勞働者 廿四萬人

匡救工事總決算

既報平土木監督所では目下八年度匡救事業着手前に當つて七年度事業の使用延人員及び賃金の統計を調査したのに依ると町村匡救工事の道路總工費は九萬二百三十三圓九十錢是の延人員が十三萬八千七百八十二名．河川が三萬六千四百四十二圓四十八錢、人員が五萬三千二百二名、港灣が二萬四千八百六十八圓八十一錢、人員は二萬五千四百五十八人で合計總工費が十五萬一千五百四十五圓十九錢、延人員廿一萬七千四百三十四人と云ふ多數を動員し所員も晝夜兼行して郡下各町村工事を竣功せしめたものであつて尚此の外に縣直營工事の總工費二萬四千四百七十二圓四十錢、人員三萬七百五十六名を合すると郡下の各種救濟事業は十七萬六六千十七圓五十九錢、延人員二十四萬八千百九十人で延人員の如きは郡下廿五萬人口に比適して全人口の九分通りが救濟事業に就業した譯であると

平青年訓練所 近く店開き

平青年訓練所にては本年

込者が一人もない所から過般來會我事主を始め坂内、鈴木(康)井上、丹野、大和田の各指導員が町内を行脚し極力勸誘に勤めて居るが之が運動効を奏し目下の處二十餘名に達つしたので近日入所式を行ふ事になつたと

湯本消防に 金馬簾允許

石城郡湯本町消防組では過般自動車喞筒購入及び駐在所改築等の事業に盡力したので來る十九日平署管內消防檢閲に際して小田部署長より金馬簾一條を授與されると

徳永博士一行 炭坑視察

東都に於ける地質學者約三十名は來る二十四二十五の兩日理學及び工學博士徳永重康氏指導の下に日立礦山並に常磐炭田視察の爲め當地方に來られると

開かれぬ實業學校 入學者一名もなし

平商業學校內平實業公民學校の始業式は去る一日行ふ豫定の處本年度入學者が一名もないので開校出來ず近く勸誘の手紙及びビラを配付して募集する事になつたと

農耕用牛 農會で飼育奬勵

石城郡農會では郡內農家の農耕牛の飼育を奬勵する事になり郡駐在米山技手が指導を行つて居るが一般では一町歩以上の水田を耕作して居る農家は少なくとも一頭の耕牛馬が必要であるのに郡內では山間部を除ては實行して居るもの少なく人力耕耘を行ふ結果能率が上らず農家經營難にあるので今後盛に農耕用牛の飼育を奬勵して能率の向上を計ると

郡教育部會 役員會 校長會と併催

石城教育部會にては來る二十日午後一時より郡小學校長會體育協會石城支部郡教員會と聯合し平第一小學校於にて役員會を開き本年度の事業に就いて協議する外本郡下小學校教員に關する集會期を左の如く決定すると

五月、十一月　校長會及び教育部會　六月　教員會　七月　教務主任會　八月　一般教員及び體操講習會

藤原川改修 繼續施工 八年度廿万圓

石城郡磐崎村地內藤原川改修工事は七年度工費六萬圓にて着工中であつたが是の程竣功したので本日縣遠藤技師が竣功檢査を行つたが同工事は今八年度も繼續事業として工費二十萬圓に增額し來月中に着工すべく準備中であると

磐中卒業生の上級進學

磐城中學校卒業生の其後に於ける上級學校進學者は左の如くである

早稻田第二高等學院遠藤角之助　志賀滿義　同第一高等學院長谷川周彥　小宅正男　矢內純一　明大豫科小野信一　砂田實　青山學院　竹本硏一　竹本邦明　拓大豫科關內義方　東京寫眞專問齊藤豊日大豫科金子純一　岸正利武藏　高等工科鈴木源三郎　東京高等鐵道渡邊精　慶應高等部四家又衛　福島高商下山田勇

海軍簡閲點呼 五月二日執行

濱三郡及び小野新町署管內の本年度海軍簡閲點呼は來月二日平警察署會議害に於いて執行されるが招集兵は本年中に第一國民兵役に編入される者及び昨年十月一日豫後備役に編入された者を除く在郷下士官全部であると

濱三木炭の幹部會

濱三郡木炭移出商組合では來る十九日午後一時より團體事務所樓上に幹部會を開き本年度豫算並に出荷品定價の協定に就き協議を行ふと

果樹共同出荷 郡農會で協議

石城郡農會では來る十八日午前十時より團體事務所樓上に郡下果樹組合長會議を開會本年度事業計畫及び共同出荷等に就いて協議する

勿來火見櫓

石城郡勿來消防組では防火設備充實の爲め同町驛前に火見櫓及び貯水池を設置する事となり目下設計中であると

小川農會協議

石城郡小川村農會では來る廿日午後一時より役場內に於いて役員會を開き本年度事業の計畫に就いて打合せを行ふと

平町人事

回出生

△北目一一　當時東京市向島區吾嬬町三ノ四〇淸水鑛市氏長女國子

△南町二〇　弟子丸正雄氏三女ラル子

△久保町二八　武右常衛門氏三女宮子

△新川町二八　高橋龍治氏二男勝男

會葬御禮

昭和八年四月十四日

平町字田町十四番地

小齊五郎

只今迄三越金澤支店美容部主任として務めて居りましたが今度左記の場所に開業致しました
當院獨特の斬新なる技術と優秀なる器具並に衛生設備の完全は皆々樣の御期待に副ふことゝ存じます
宜しく御引立を賜り度く御願ひ申上ます

アメリカ式美顏術　和洋結髮
シヤンプー　毛染
マニキユアー　御婚禮化粧着附

平町田町五番地

研美院

高橋輝子

洋髮主任　門根花

珍・葬式爭議

香奠が不足故葬儀は中止

四倉で船主と漁夫睨合ふ

全國にも珍らしい葬式爭議 石城郡四倉町新町菅波末吉氏所有イワシ漁船乘組員飛田兼吉(五七)は去る十日午後七時船體修理中誤つて壓殺されその葬儀は十三日午後二時同町海岳寺で行ふべく花澤住職が導師となつて愈よ出棺となるや死者の女婿に當る吉田鶴五郎(三五)が會葬者に向ひ『船主菅波方からの弔慰金は僅か五十圓に過ぎず目下交涉中だが解決するまで葬儀は見合せる』旨を告げ諸準備を取片つけ棺桶をそのまゝ今十四日も菅波氏と交涉中で何時出棺出來るとも見當つかぬが世にも珍らしい此の葬式爭議の裏面には社會大衆黨四倉支部長菊地某らが介在してゐるらしく死人を其のまゝ投出しておくことも出來ず四倉署では仲裁のため內容調査中であると

石川縣議夫人の離緣訴訟公判

平支部で來月廿日

石城郡湯本町大字吹矢九十七番地縣會議員石川德壽氏から家出の爲め生死不明であるとの理由の下に平支部に離婚の訴を提起され請求通り離婚の判決を言渡されたヤス子夫人が去る六日漂然と平支部に姿を現し右判決謄本の下附申請をなし何處へとも知れず立去つた事は既報の如くであるが本日新田目辯護士を代理人として私は只今東京市杉並區天沼町一ノ六に石川の長男及び四人の子供と居住して居るので此の通り生きて居りますと控訴の申立をなしたので來る五月二十日第一回口答辯論を開く事になつたと

平署管內消防

聯合檢閲

十九日に擧行

既報平署管內四町十六ケ村聯合消防組の春期檢閲は來る十九日午前八時を期して本町通りに整列、身体、器具等の檢査後九時半より小田部署長臨席のもとに磐中校庭にて訓練並に喞筒取扱演習を行ひ午後一時より磐中講堂で左記順に依つて擧式を行ひ終つて勇裝な全員の分列式を擧行すると

一、優良組合員表彰
一、金馬簾授與
一、署長訓示及び講評
一、警察部長訓示
一、來賓祝辭
一、受賞者總代答辭
一、組頭總代の答辭

校長と學務委員

學校で大亂鬪

負傷した校長に批難

石城郡上小川小學校で去る七日夜催した同校二訓導送別會の席上での同校長田久德次郎氏と同村學務委員箱崎喜四郎氏とは言葉の行違から大喧嘩となり其場は仲裁人があつて納つたが同夜校長宅で再び大格鬪を演じ田久校長は眉間に傷を負ひ繃帶を施して登校して居るが是の事實を知つた村民等は校長の輕擧に非難の聲を浴びせ近く代表者を選んで校長に彈劾書を叩きつけると敦圍いて居る

▷▷▷▷▷▷▷

空いてゐます

公園の賣店地

既報平町役場で過般抽籤に依つて決定した松ヶ岡公園內賣店許可者のうち一等三号、三等四号、三等乙号の三箇所は未だに缺員となつて居るので役場では過般願出た者のうちから補缺員を募集して居るが希望者は至急役場に届出て慾しいと

平女青役員會 平女子青年團にては來る二十日午後一時より第二小學校に於て役員會を開き來る二十三日磐中講堂に開催される縣下聯合女子青年團總會の準備に就いて種々打合せを行ふと

荷車を挽いて……

機械を盜み出す

三人組平署に捕はる

石城郡內郷村大字御厩字久世原下駄職大竹佐吉(七〇)同字日雇業海老原ミノ(四二)及び字立野日雇業渡邊吉之助(三九)の三名は昨十三日午後七時頃字御臺境古物商清野彥四郎方より荷車を借り受けて磐炭高坂坑倉庫よりワイヤー其他の機械類を竊取し前記清野方で賣却すべく車に積んで運般中駐在所員に檢擧され目下平署で取調中であると

公金横領の

公判

懲役一年半求刑

双葉郡長塚村前村長江閣榮治(五四)及び同村助役安井貫(四五)の兩名に對する詐欺横領事件の第二回公判は昨日午後一時より平支部に於て中島裁判長係り關口、竹內兩判事陪席、小林檢事立會千葉、大嶺、眞木、永野、東京佐藤の各辯護士列席の下に開廷され型の如く裁判長訊問の後檢事より『被告兩名が共謀して三千七百圓で竣工した溜池工事を一萬一千四百圓を要した如く書類を作成し縣から此の差額七千六百餘圓を騙取した事はまことに言語道斷である』と各懲役一年六ケ月宛を求刑されたが言渡しは來る二十四日午前九時であると

JOHK 明日のラヂオ 十五日

仙台放送局

天氣豫報

明日は南東の風曇り次第に小雨模樣となりま

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 お話「潛水物語」森田三郎
▼後七、三〇 航空の夕 東京芝飛行舘より中繼(講演)海軍中將四王天延孝
▼後八、〇〇 吹奏樂 海軍々樂隊 指揮內藤清五
▼後八、三〇 薩摩琵琶「噫木村德田兩少尉」榎本芝水
▼後九、〇〇 漫談 德川夢聲
▼後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前六、三〇 基礎獨逸語講座(三)橋本忠夫
▼前九、一〇 料理献立「若布鍋」熊野新一
▼前一〇、三〇 家庭講座 拓植あい
▼後〇、〇五 浪花節「俵星玄蕃」廣澤駒孃
▼後二、〇〇 家庭大學講座「維新の大業と婦人の力」五 維新史料編纂官藤井甚太郎
▼後二、二〇 運動競技 東京大學野球聯盟リーグ戰試合狀況(法立第一回戰)明治神宮外苑野球報より中繼
▼後六、〇〇 子供の時間 喇叭鼓樂と軍樂 陸軍戸山學校軍樂隊 指揮伊藤隆一
▼後六、二五 ことばの講座 神保格
▼後七、三〇 ハーゲンベック曲馬團狀況 萬國婦人子供博覽會芝浦會場より中繼 關屋五十二
▼後八、〇〇 ピアノ獨奏 小倉末子
▼後八、二五 連續浪花節 第一席 京山若丸
▼後九、〇〇 放送舞臺劇

平職業紹介所報告

回 人を求める方

△給仕 十六才 高卒 給料面談(平町某公署)
△漁夫 五十迄 日給七八十錢外面談(平町某食堂)
△女中 五十迄 月五六圓外面談(箕輪村某溫泉旅館)

回 職を求める方

△農夫 四十才 委細面談(飯野村某)
△雜婦 四十三才 尋一修 給料面談(平町某)
△女中 二十才 尋卒 給料面談(平町某)
△商店員 二十六才 高卒 給料面談(平町某)
△印刷工 二十六才 高卒 給料面談(好間村某)
△商店配達 三十一才 高卒 給料面談(大野村某)

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

豪傑劍士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第三百十五號　佐々木見山

見山有馬侯に仕へる

大六は思ふ女が家老吉田織部の計らひにて渡邊金彌の許へ縁付いたと聞き狂氣の如く憤り酒にのみしたしみ折々刀を拔いて暴れる、門人も此頃は寄りつかない大六はおそでを吉田織部の許につれ行き渡邊に縁付たのは佐々木見山の策略より出でた事と思ひ、佐々木をにくみ折あらばこの怨らみを晴らしてくれようと乘ずべき隙をうかゞひ居る佐々木見山は大六が怨んでゐるとは聞いたがさして心にもとめぬ、此の事濟んだ後に吉田織部が

織『さて佐々木、貴樣が長く豪士としておくは誠に惜い豪士と申せば百姓にて帶刀をして苗字を名乘ること出來る身分、武士には相違ないが先づ百姓に等しきものだナ』

佐『左樣に御座います國元に居れば鋤鍬を執つて耕作を致します』

織『當有馬家に仕へてはどうだ殿樣に申上げて多分を碌を與へることはならずとも武士として體面を保つだけの事は致して遣はす』

佐『有難い事にはございますが奉公の望みはございません、すでに細川家より再度使ひも參りましたが斷り申しました』

織『どういふわけで仕官を致さぬ』

佐『諸侯には妙な家法がございまして兎角新參者を輕く扱ひます、ましてわたくしは豪士であります、あれは百姓だなどと申して一層いやしめるでございませうこつちも人間だけの情はございますから安くあつかはれると癪にさはることもございます、さうなると自然爭いがいたして身をほろぼすやうにもなりませう』

織『それでは浪人分として仕へたらよからう家來とはならず浪人にて當家の扶持をうけ若侍に劍道の指南を致してはどうだ』

佐『それならば御扶持をうけませう御家來となることはお斷り申します、夫れに拙者は我儘者で馬鹿な家老を尊ぶことは出來ません』

織『何んだ馬鹿な家老とは……』

佐『これはとんだことを申しましたどうぞお聞きにならぬ様に願ひます』

織『もう聞いてしまつたぞ……』

佐『これは困りましたナ大名の家老には馬鹿が多い様でございます太夫樣御老職樣と家中の者にあがめられ無理な事を申してそれは御道理至極と申しますそれは違ひませう道理に背き居ると申す者はありません、それゆえ馬鹿な道を進み行きます、さういふわけでございますから馬鹿の形を見たくば大名を見ろその上の大馬鹿は殿樣ださうです』

織『遠慮のない奴だ然し貴樣のいふ事は滿更道理のないことでもない』

佐『實地のお話でございます、僅かな碌の爲に馬鹿の機嫌を取ることは出來ません五斗米のために膝を屈するは男子のいさぎよしとせざる處』

織『もうわかつた兎も角も浪人分として當家にゐる若い者に武藝の指南を致せ』

と再度すゝめられ見山も承知した茲に吉田織部より主人有馬玄蕃頭侯へ此ことを申し出て廿人扶持を與へて佐々木に劍道指南役を申付けた、長家を貰つてこれに住み女中が一人に僕が一人其の他は猫が一匹これは鼠を取るより外に能はない道場を造へて若侍を集めて劍道を敎へる勝海舟伯はこの人に就いて劍術を學び又海外の事情を知る爲に蘭學を研究して見れば普通の劍術の先生ではない時に若侍に

佐『中村さん貴公の太刀くせはよくない所がある、最も癖に良いくせはないがそれでは實戰の時には困るさう小手を上げては腕を切られてしまう初心の内ならば早くこのくせがとれるがさういふ風にかたまつてはなか〱このくせを取るは困難だ一體誰について劍術を習つたか』

中『菊地大六先生でございます』

佐『ハヽア二刀を遣ふ菊地どのについて敎へを受けたか菊地どのはこのくせに氣が付かなんださア本統の劍術を習ふがよい化粧劍術を何度學べばとて奥儀をきはめることは出來ない、拙者の敎へるは眞實の劍術である』

なぞといふ

外科・婦人科
井坂醫院
平町田町
電話五五九番

平町二丁目
三井タクシー
電話六八五番

櫻花の季節になりました
お花見には是非……
夜宴の折詰を
時節柄價格低廉
奉仕的勉强
平町一丁目
一谷藤寅
電話一四一番

御贈答に!!!
記念品に!!!
諸景品に!!!
漆器を!!!
專門の(共)は
誠實勉强
親切第一
在庫豐富
是非御用命を
ドコヨリモ、ヨイシナヲ、ドコヨリモ、ヤスクウル、ヌリモノミセ
平町三丁目北裏（元郵便局裏通り）
各國產漆器
專門卸小賣
(共)漆器店
店員募集
小店員 十三四才位
外交員 三十才迄位

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
◉秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番